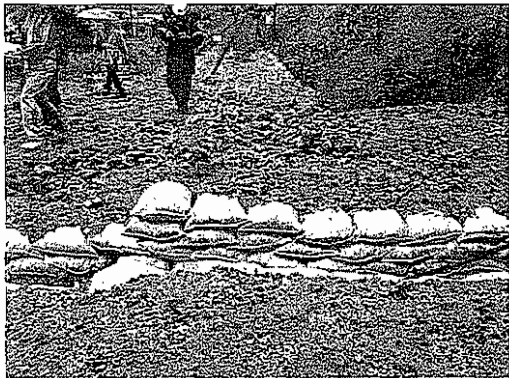



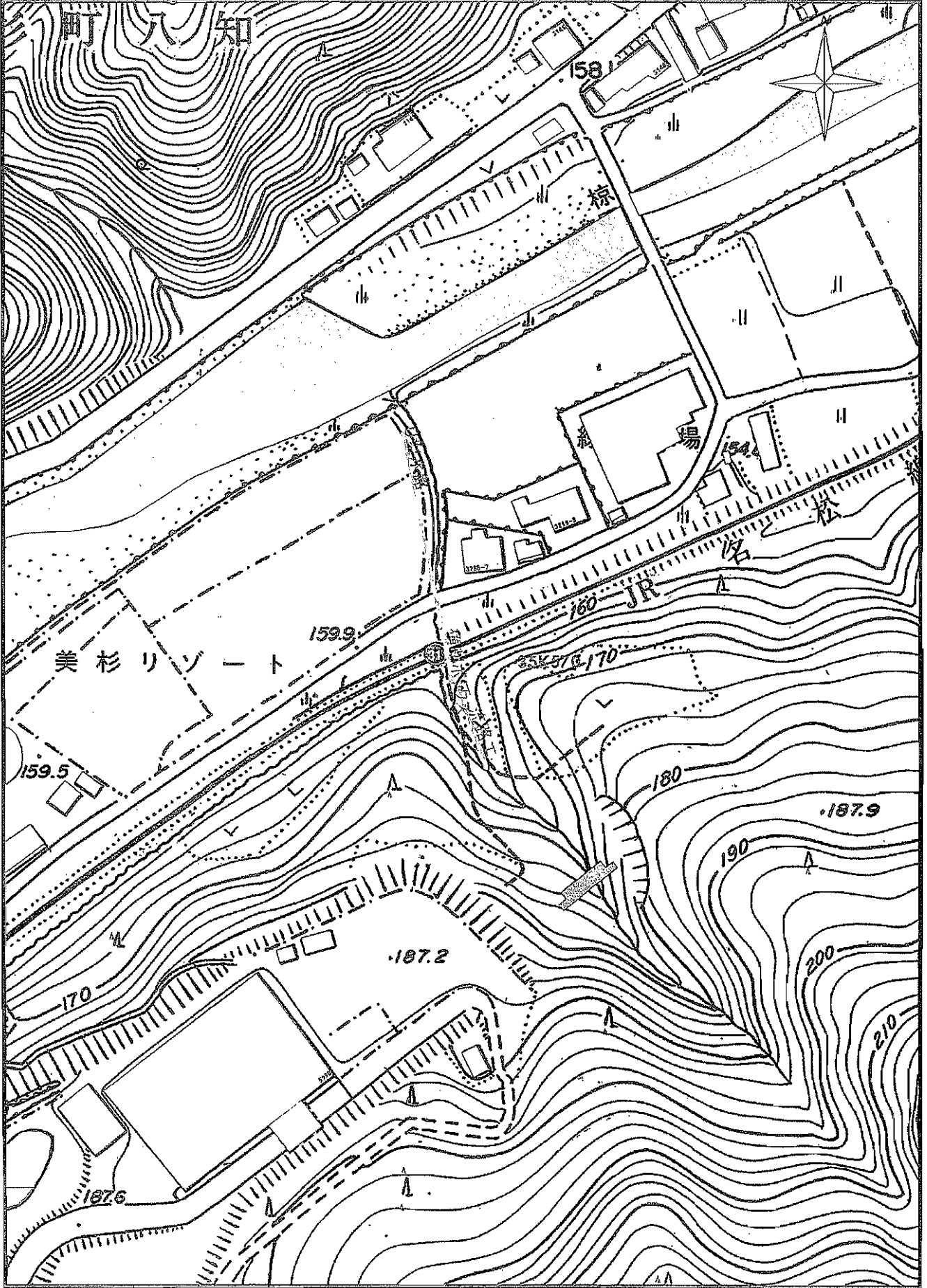
JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.31	35k570m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	流路工				
コメント	溪床には土砂が堆積している。 多量の土砂が線路に流入した。 断面の大きな上流水路と線路横断水路の新設が必要である。 また、上流部で谷止工を設置することが必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎		◎		大
写 真					
					
土砂（マサ）の流入			上流水路		

197

-1





183

-1

JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.34	37k525m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	豪雨時のみガリー状の凹地を水が流れ、マサを流出するが、その量は少ない。山腹工の新設が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
				○	中
写 真					
					
		ガリー跡	細粒マサの流入		

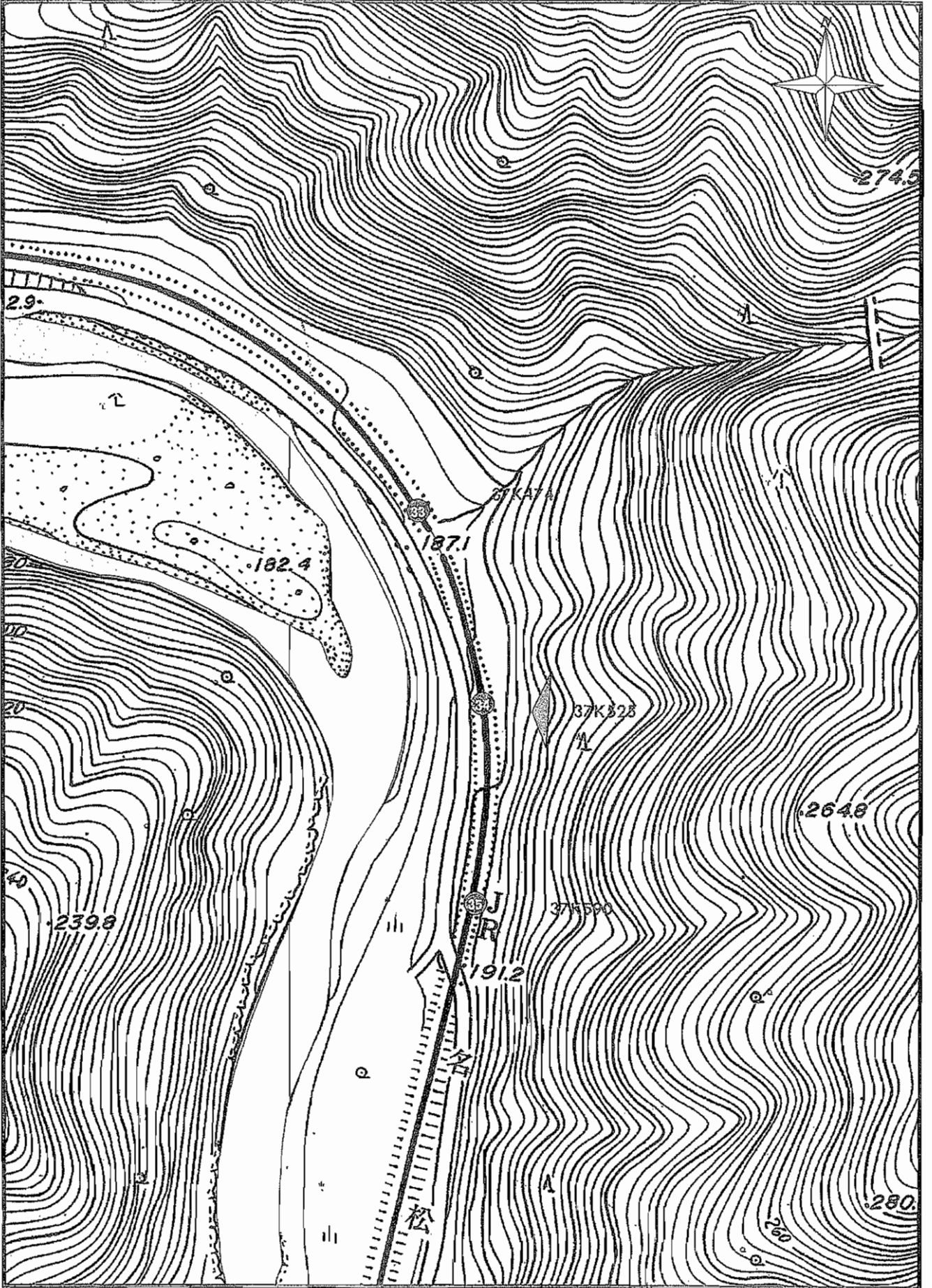
24403

位置图

24677

102

-1



24403

1:1500

24677

187

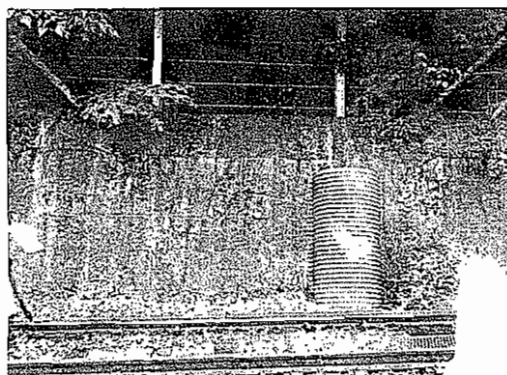
-1

JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.35	37k590m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（擁壁背面に堆砂）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩	その他（ ）	
既設対策工他	なし				
コメント	擁壁背面にはまだ堆砂容量が残っている。 擁壁背面をしゅんせつし、堆砂容量を増やすことが望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
		○			小

写 真

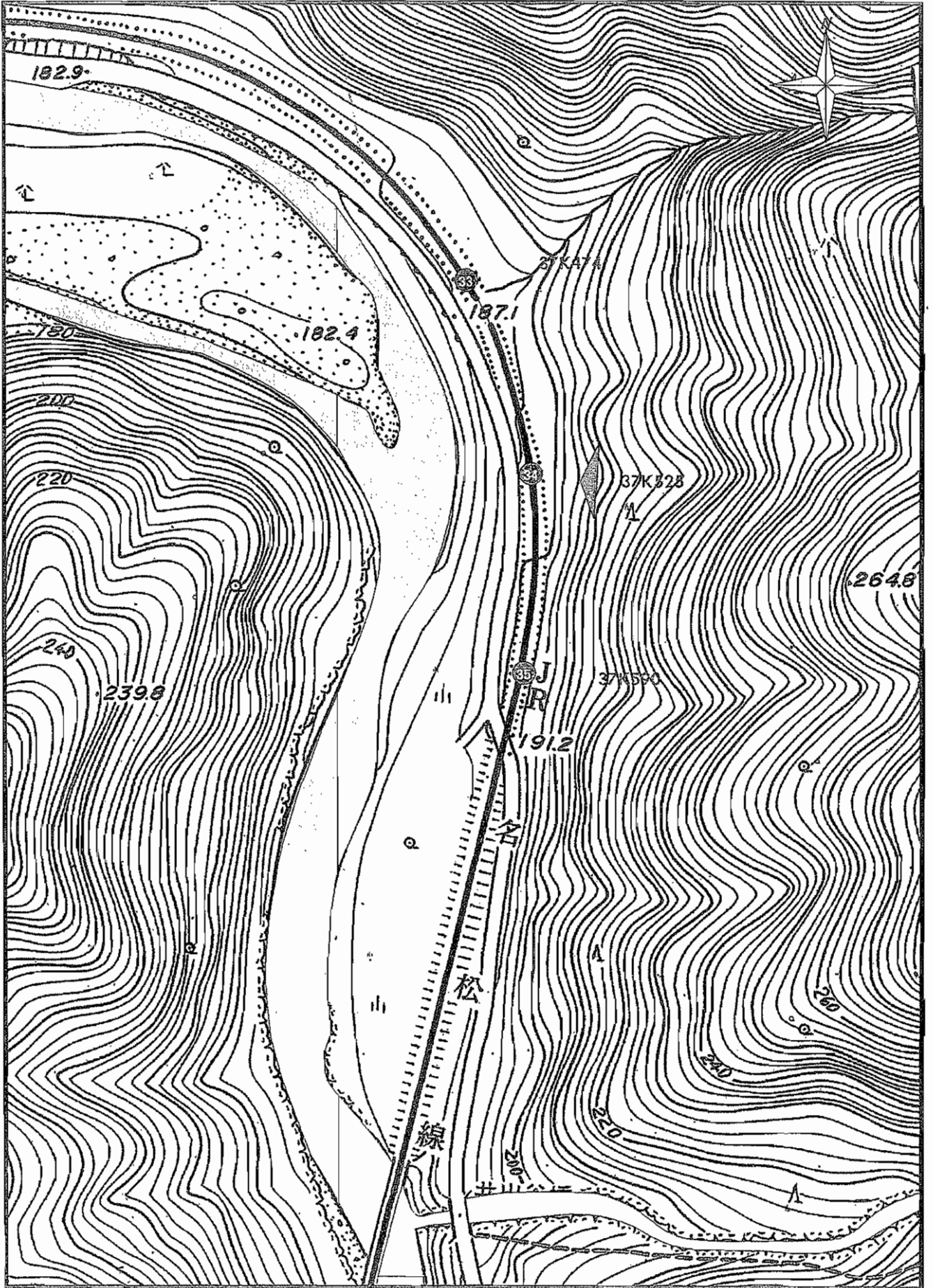


線路脇擁壁



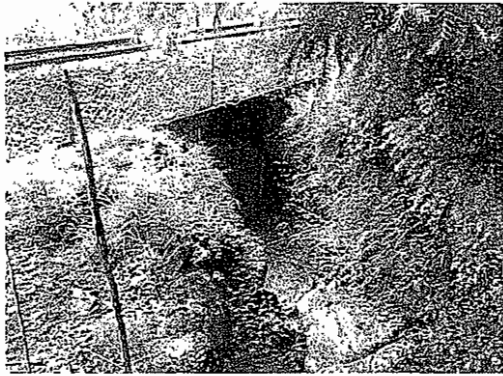

擁壁背面堆砂状況

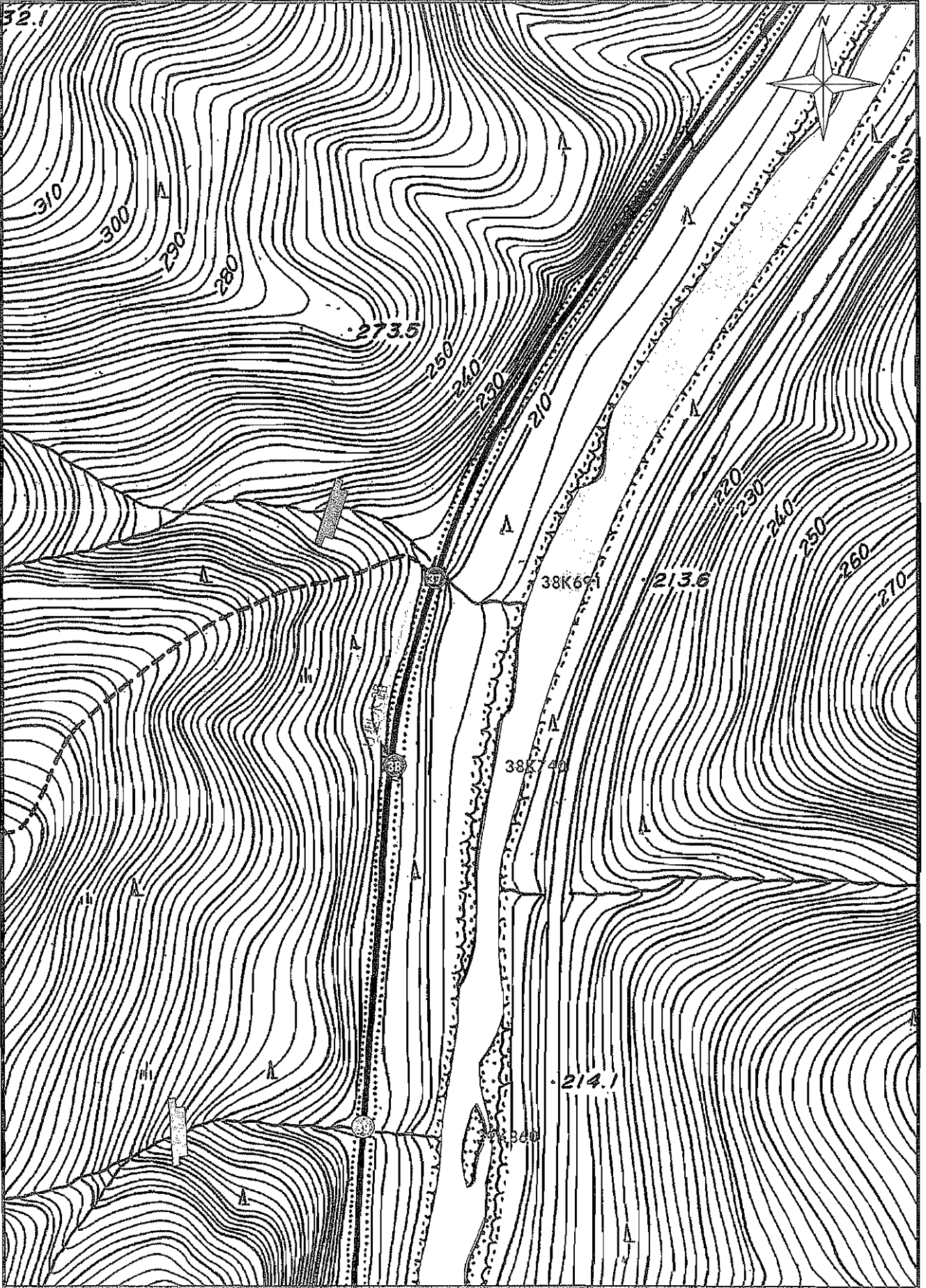




JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日



箇所番号	区 間		線路との位置		
No.37	38k691m付近		右		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	谷止工は満砂している。 谷止工の腹付かさ上げし、堆砂容量を増やす必要がある。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
			◎		大
写 真					
					
線路横断水路			谷止工は満砂している		





JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.38	38k740m付近		右		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（線路手前に流入）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩	その他（ ）	
既設対策工他	擁壁				
コメント	少量の土砂が山腹より流出し、線路脇の擁壁裏に堆砂している。 水路の新設と土砂のしゅんせつが必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎	◎			中
写 真					
					
豪雨時のみ流水する凹地			堆砂した線路脇擁壁		

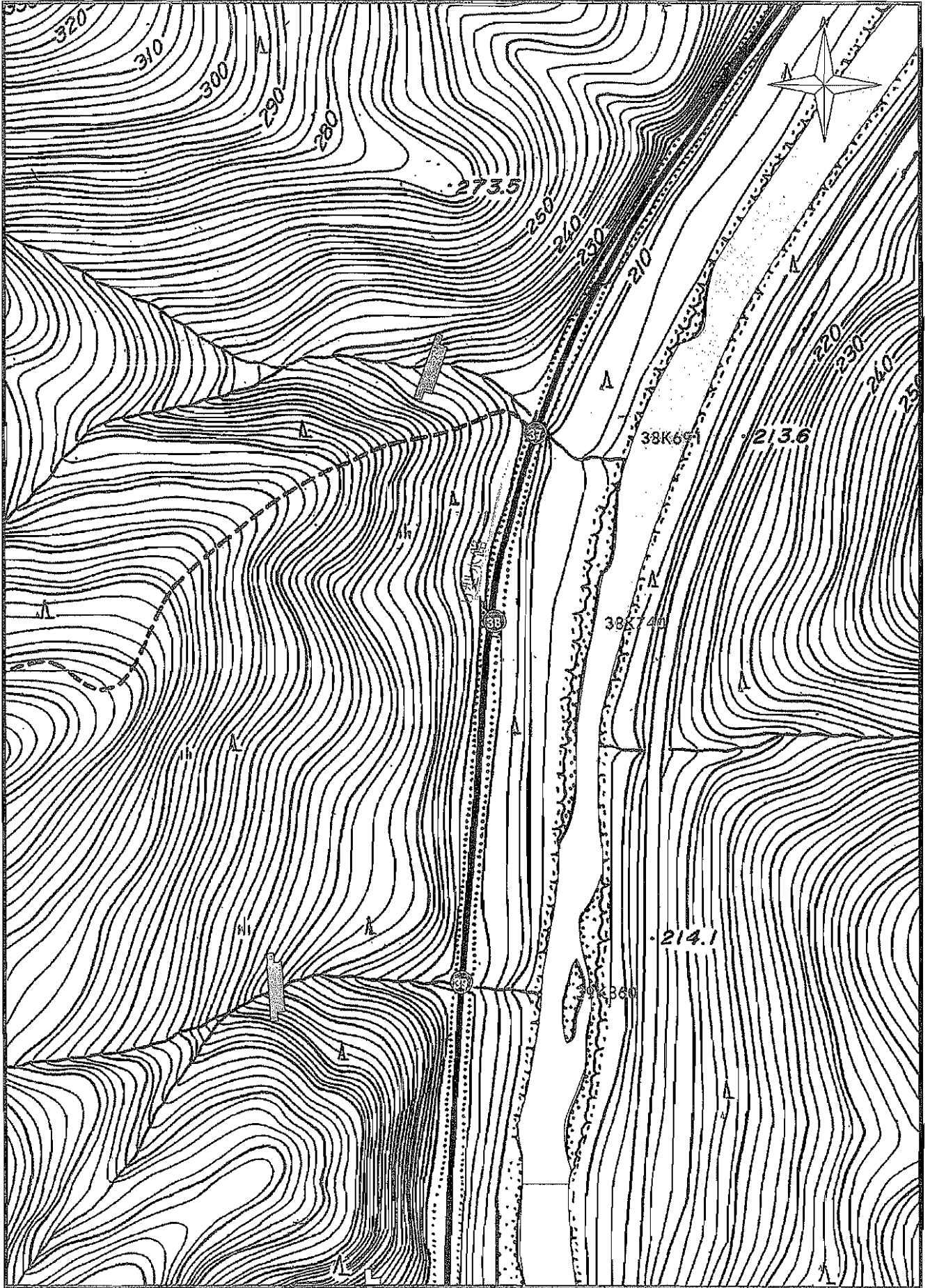
24340

位置图

24615

199

-1



84

-1

24340

1:1500

24615

JR名松線被害箇所調査表

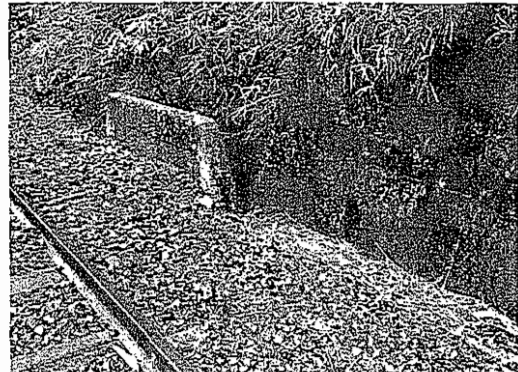
調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.39	38k860m付近		右		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（線路脇柵に流入）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩	その他（ ）	
既設対策工他	柵（スクリーン）				
コメント	流出物は流木が主体で、線路脇の柵（スクリーン）で停止している。貯留された流木の撤去が望ましい。また、柵にネット等を敷設し、枝・礫等を捕獲できるようにすることが望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
		○	○		小

写 真



全 景



流出物は線路まで到っていない

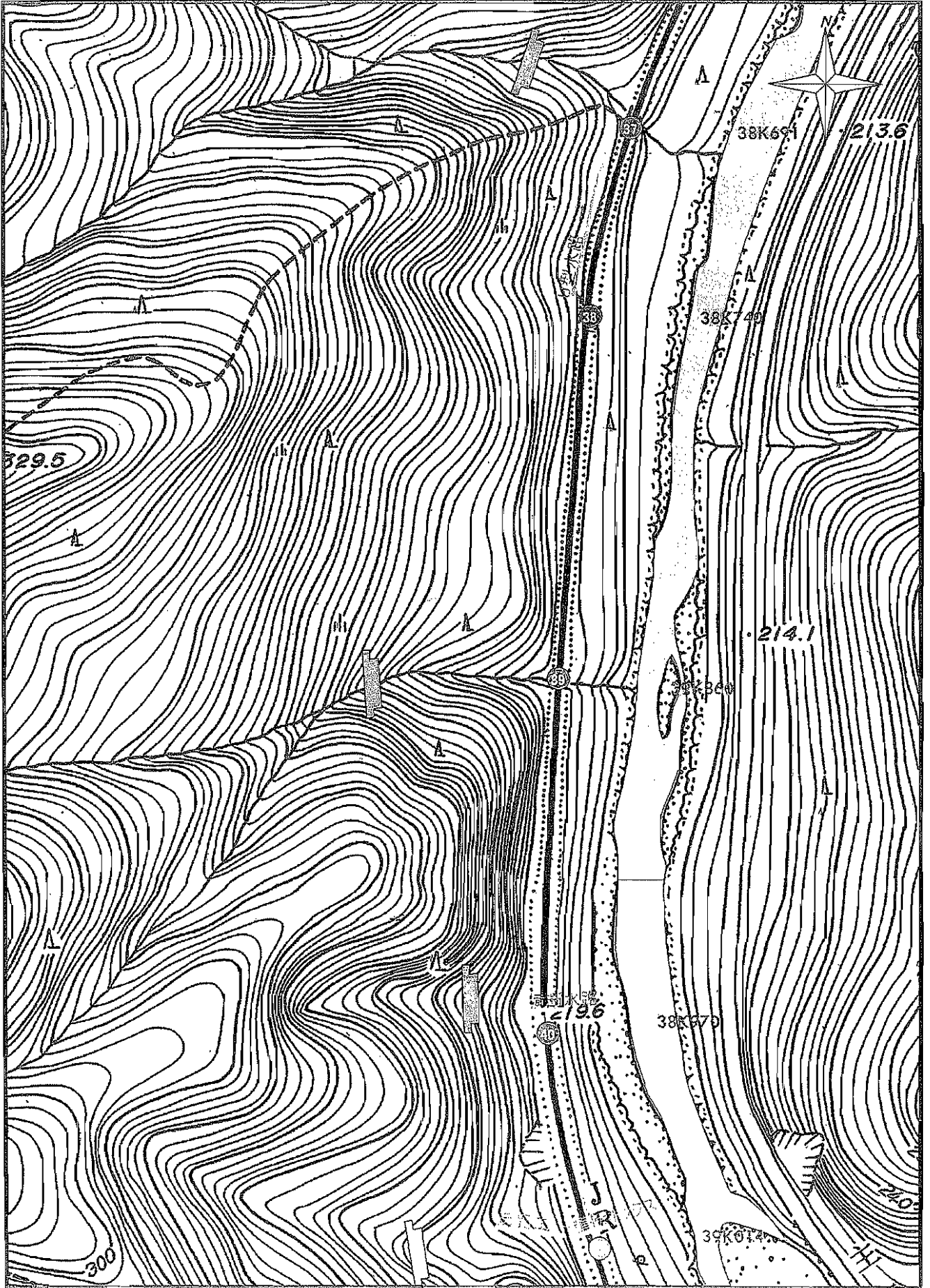
24311

位置图

24586

190

-1



176

-1

24311

1:1500

24586

JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区間		線路との位置		
No.40	38k970m付近		右		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（線路手前に流入）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	豪雨時のみ流水する小沢から土砂・流木が流出した。 谷止工の新設が望ましい。 小沢出口よりの水路と線路横断水路の新設が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	○		○		小

写 真

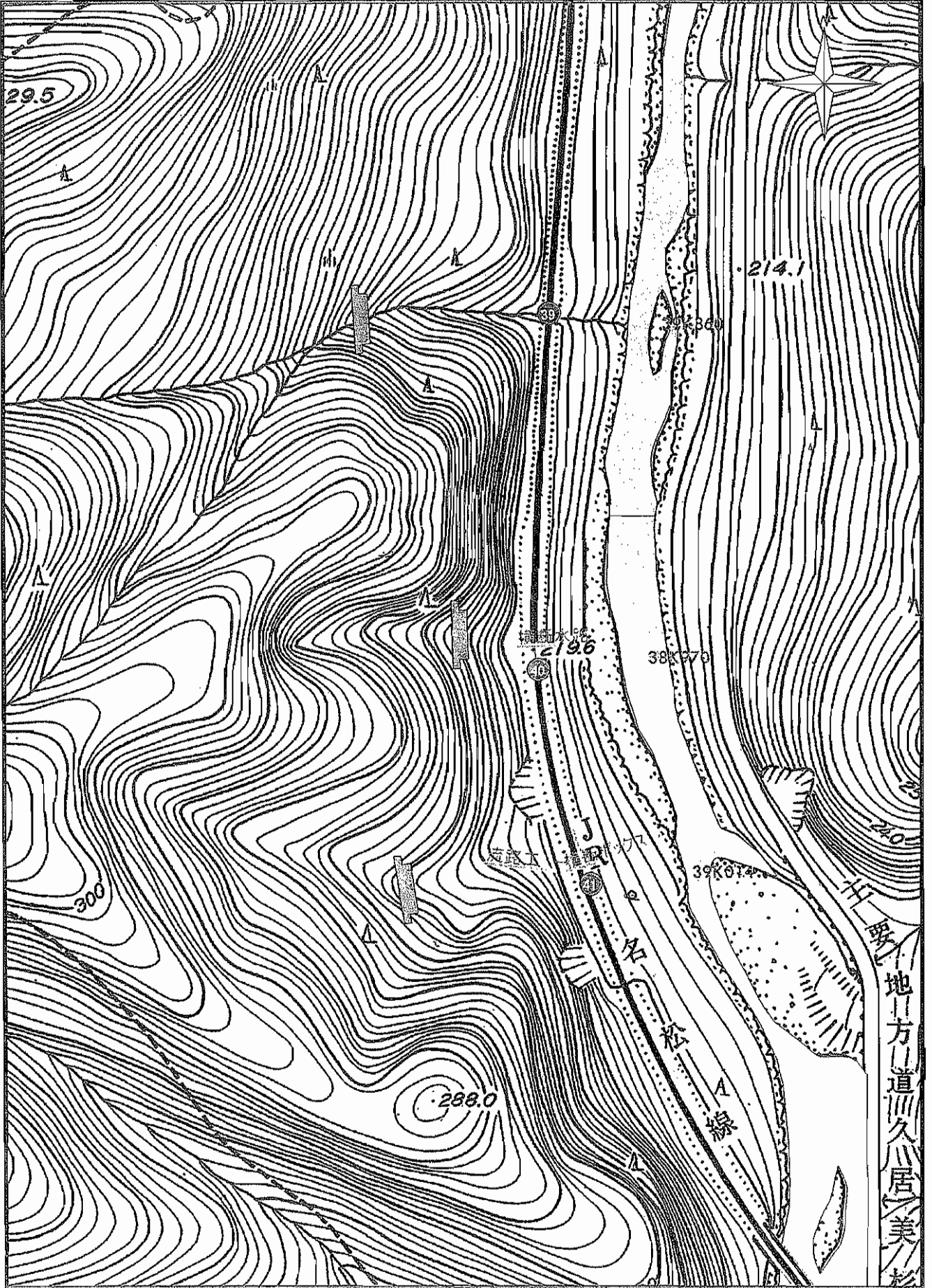


流出土砂



豪雨時のみ流水する小沢





JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.41	39k014m付近		右		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（線路手前に流入）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	○花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	○花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	伏び				
コメント	涸れ沢から流出した土砂が堆積し、伏び呑み口を閉塞している。 流出している礫は中礫（φ4～64mm）以下のものが多い。 涸れ沢出口からの水路工と既設線路横断水路を拡幅する必要がある。 谷止工の新設が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎		○		中

写 真



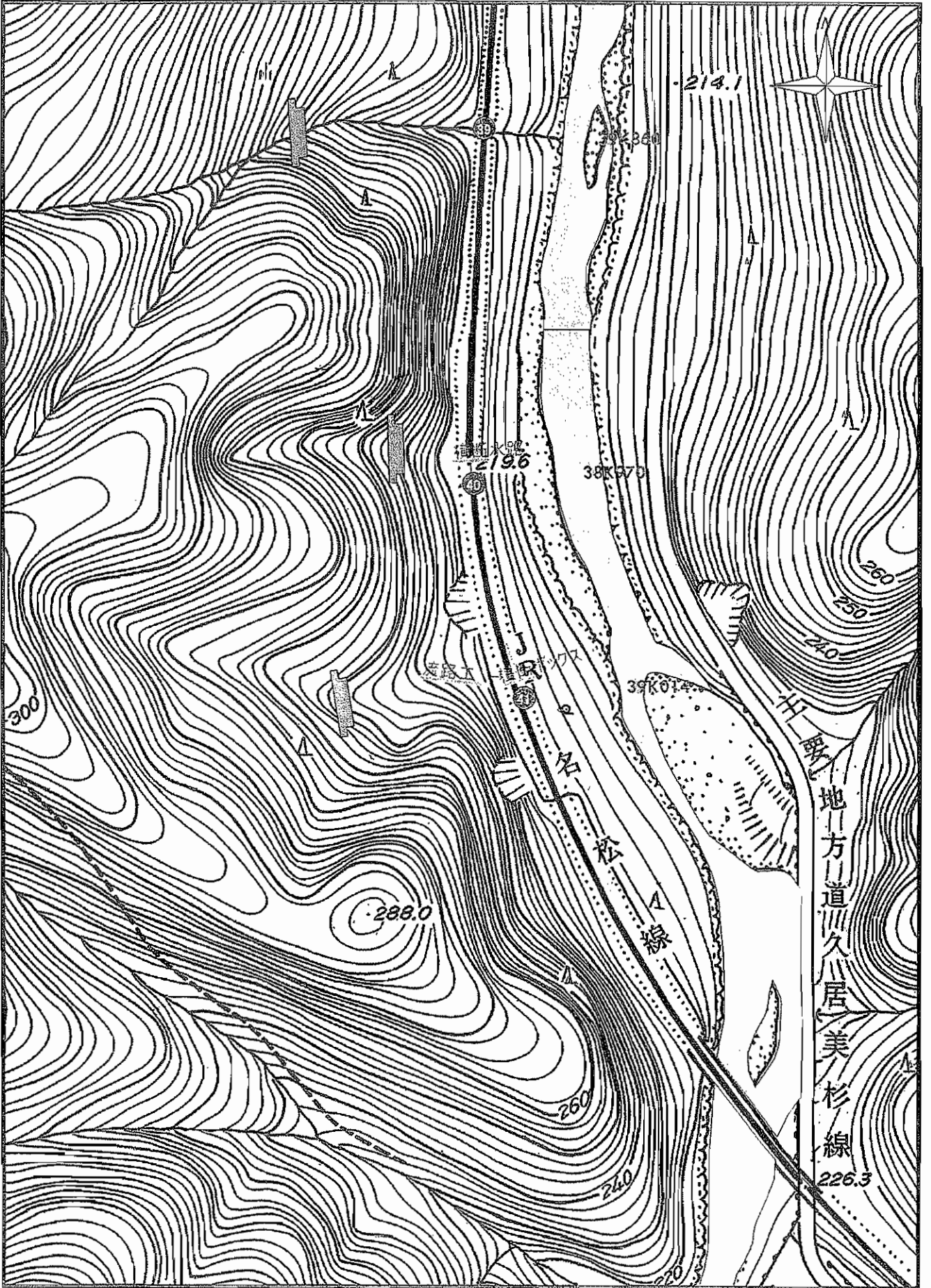
流入土砂



伏び呑み口の閉塞



涸れ沢には礫が薄く堆積している



JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.42	39k320m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（線路手前に流入）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩	その他（ ）	
既設対策工他	なし				
コメント	涸れ沢は露岩している。 流出土砂は少量で線路手前に堆積した。 涸れ沢出口からの水路工と線路横断水路を新設することが望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	○				小

写 真

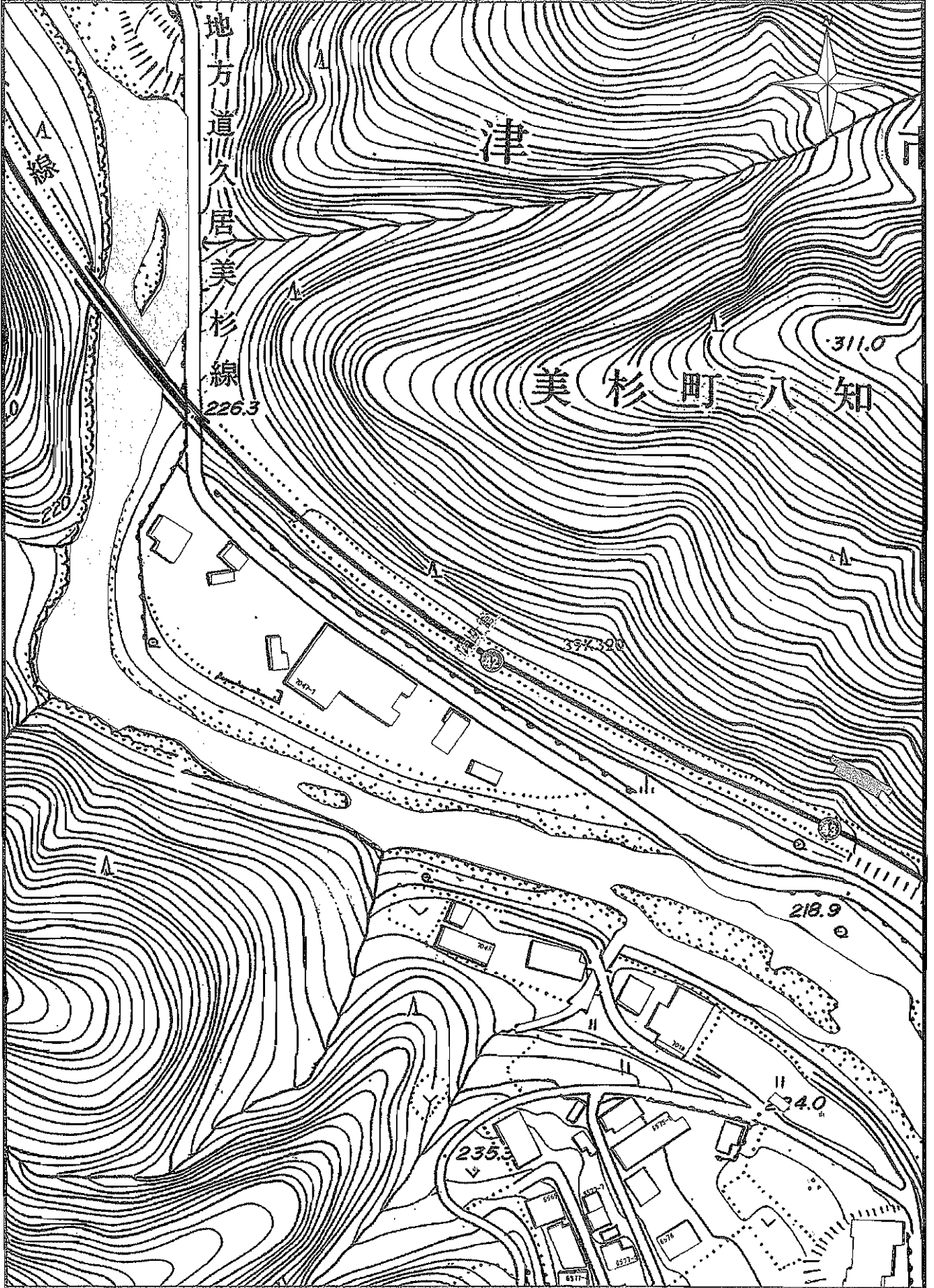


涸れ沢出口



涸れ沢





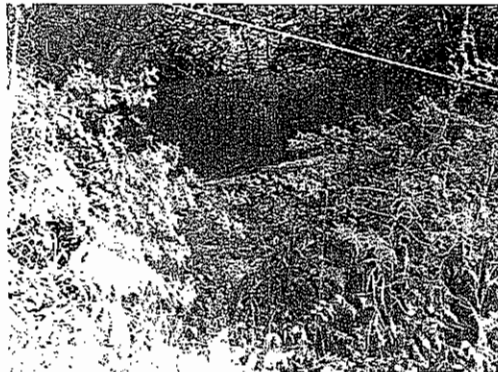


JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.43	39k420m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（線路手前に流入）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩	その他（ ）	
既設対策工他	落石防護柵				
コメント	流出した土砂は落石防護柵（落石止柵）背面に堆積している。落石防護柵のしゅんせつを行うことが必要である。また、谷止工の新設が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
		◎	○		中

写 真



落石防護柵に堆砂した土砂



JR名松線被害箇所調査表

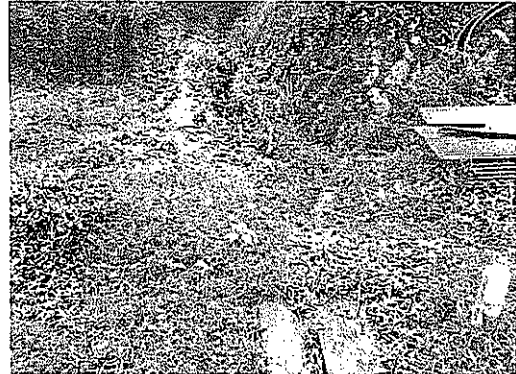
調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.45	39k635m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	踏み切りよりマサ（比較的細粒）が流入した。 上流部の道路側溝と線路横断水路の新設が必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎				大

写 真



全 景



踏切箇所の道路

